

令和3年度 建設工事の入札・契約制度の概要

1 入札方式

入札方式	対象となる建設工事
政府調達協定一般競争入札	設計金額23億円以上
制限付一般競争入札	設計金額250万円超23億円未満
指名競争入札	早急に入札を執行する必要がある場合、専門性が特に高い場合
随意契約	設計金額250万円以下
1者随契	地方自治法施行令第167条の2に該当する案件

2 執行方法

- ・電子入札により執行している。（1者随契並びに水道局及び病院局執行分を除く。）

3 予定価格の公表

- ・原則として事後公表。ただし、指名競争入札で執行する工事については、予定価格事前公表で執行。

4 一般競争入札の参加資格の審査方式

- ・設計金額3億円未満 開札後に落札候補者のみ資格審査を行う。
- ・設計金額3億円以上 入札前に入札参加者全ての資格審査を行う。

5 等級別発注基準

設計金額	1,000万円	1,500万円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	5,000万円
土木	B					A
建築	B					A
電気	B	A				
管	B			A		
舗装	B				A	
造園	B			A		

6 JV発注基準額

- ・土木工事、電気工事、管工事、舗装工事及び解体工事 : 設計金額2億円以上
- ・建築工事 : 設計金額5億円以上

7 建設業者の社会保険等未加入対策

国や県の取組みを踏まえ、令和2年4月1日以降に市が契約する建設工事における全ての下請契約において、社会保険等未加入建設業者との下請契約を禁止することとした。